

「予算議会」といわれる3月定例会。 令和5年度の予算について全議員で審議しました。



天使のゆりかご支援事業 1,380万4千円

【問】

他市の不妊治療助成事業と比較してどうか。

【答】

中信3市と比較して充実している。

	塩 尻 市	比 較
対象年齢	年齢制限なし	【1市】不妊治療の保険診療対象となる年齢(43歳未満)
助成対象	「保険診療の対象となった治療」及び「保険診療対象外の治療」	【1市】「保険診療の対象となった治療」のみ
回数	6回(※)	【2市】5回
助成額	30万円を上限に自己負担の3分の2	【3市】同額

※国の研究では不妊治療6回まで回数を重ねるごとに分娩の割合が増加する研究報告あり。



教育センター情報教育推進費 7,663万2千円

【問】

GIGAスクールのヘルプデスクについて。支援の対象はタブレットを活用する教員に対してか、または生徒のことも含むのか。

【答】

基本的に教員。現状、機器の操作方法など軽微な問い合わせが非常に多い。

【要望】

GIGAスクール構想が始まり、子どもの悩みや困りごとをタブレットを使って相談できるシステム運用が進んでいる。佐久市では、タブレットにSOSのアイコンを設け、相談したい教員を選べるような仕組みを試みている。先進的な事例を含めた取り組みの検討を進めていただきたい。



水道事業会計 25億8,000万8千円

【問】

水道事業広域連携について塩尻市の取組みは。

【答】

長野県は10圏域ごとの統合を目指している。松本圏域は協議会を設け、広域連携に向けた検討をしている。県の説明では、まず松塩水道用水供給エリアの市村を統合し、その後、松本圏域全体の統合を見据えており、関係する市村で協議を進めている。

【問】

水道事業広域化のメリット及びデメリットは。

【答】

老朽化した水道施設の改修、改築を各市村で行うと給水原価が上がるが、広域化により施設の統廃合を行うことで負担が軽減される。また、事業面では、施設管理や財務会計システムを統合することで経費削減できるメリットもある。一方、料金を低く設定している自治体は、広域化による水道料金の統一化により、料金が高くなるというデメリットがある。



国民健康保険事業特別会計予算 特定健康診査等事業諸経費 6,101万9千円

【問】

特定健診の未受診者対策事業委託料について。令和4年度から始まったAIとナッジ理論を活用した検診の呼びかけに関して、その実績と状況は。

【答】

前年度に比べ受診率は2.6%上昇しており、一定の成果は出ていると考えている。

※1月末時点の受診率はR3年度35.9%、R4年度38.5%

【問】

AIとナッジ理論を活用した検診の呼びかけについて、市民の反応はどうだったか。また職員の取組みの評価は。

【答】

市民の方のお話を伺う中で、通知が届き「検診を受けないといけない」という気持ちになった方が何人かみられた。職員についても、全員で電話による呼びかけを行うなど、AIと併用して受診推奨に積極的に取り組んでいる。